

ミクロ経済学Ⅱ

科目ナンバリング ECT-202
選択必修 2単位

1. 授業の概要(ねらい)

市場における売り手の意思決定を扱う。まず需要曲線を用いた初歩的な分析を概観する。次に費用構造に着目して企業の最適生産行動を求め供給曲線を導出する。最後に独占企業の行動と価格差別について簡単に学ぶ。

2. 授業の到達目標

- 主に企業の生産行動の決定と部分均衡分析を通してミクロ経済学の方法、考え方を身につける。
- ・基数的効用を前提とした消費者行動の理論を理解する。
- ・企業の利潤最大化問題を限界費用を用いて解ける。
- ・限界費用と可変費用、平均可変費用、固定費用、平均費用の関係をグラフを用いて説明できる。
- ・独占市場における独占企業の最適生産量と独占価格の決定方法を理解する。

3. 成績評価の方法および基準

毎回課す確認テストと宿題による(100パーセント)。

4. 教科書・参考文献

教科書

タイトルが『(中級) ミクロ経済学』とついていればたいしてはOK。

5. 準備学修の内容

授業中に出题する確認テスト、宿題を解きなおしたり参考書の章末問題を考えたりしてそれまでの講義内容の理解を深めてほしい。復習、特に問題演習は重要である。ノートや参考書を読むだけで例題、問題は解かない、という勉強ではわかったことにならない。例題・問題は解き方を読むだけでなく、自分でペンをもってノートに解きなおすべきである。問題を解けば自然にわかってくることは多い。わかっていることとわからないことを明確に区別して、理解できていない解説を紙に何回でも再現せよ。

6. その他履修上の注意事項

継続的に学習せよ。10分でも構わないので毎日勉強する時間をとれ。停滞は後退である。

丁寧なせよ。つまみ食いの勉強は基礎科目においては百害あって一利なしである。100パーセントわかるところからスタートして一步一步進むのがもっとも楽な方法である。あせりは禁物である。

いくら勉強してもわからなければ躊躇せずに質問すべきである。質問する相手は教員でも友人でも誰でも構わない。困ったときに人に頼ることもれっきとした能力である。

定義を大切にせよ。わからなくなるのは定義の理解が不十分だからである。定義とは、ある概念を過不足なく説明し約束することである。スポーツをやるのにルールを覚えるがごとく、推理小説を読むのに登場人物の名前を覚えるがごとく、ミクロ経済学を勉強するにあたってはミクロ経済学の専門用語の定義を覚えよ。

7. 授業内容

- | | |
|--------|---------------------|
| 【第1回】 | イントロダクション |
| 【第2回】 | 完全競争市場と価格受容者 |
| 【第3回】 | 需要量の決定 |
| 【第4回】 | 需要曲線の導出 |
| 【第5回】 | 完全競争下での企業の生産 |
| 【第6回】 | 生産にかかる費用 |
| 【第7回】 | 限界費用と平均費用、平均可変費用の関係 |
| 【第8回】 | 正味便益と利潤 |
| 【第9回】 | 損益分岐点 |
| 【第10回】 | 操業停止点 |
| 【第11回】 | 供給曲線 |
| 【第12回】 | 独占と限界収入 |
| 【第13回】 | 独占企業の行動 |
| 【第14回】 | 独占と需要の価格弾力性 |
| 【第15回】 | 独占企業による価格差別 |